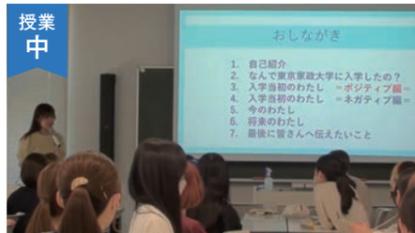


## スチューデント・アシスタント (SA)

大学1年次必修科目「スタートアップセミナー自主自律<sup>\*</sup>」では、1クラスに1名、新入生の学びを支える上級生のスチューデント・アシスタント (SA) を採用しています。新入生にとって「初めて定期的に関わる東京家政大学の先輩」であり、授業や学生生活について相談しやすい身近な存在です。



**授業前**  
授業内容について教員と打ち合わせを行います。授業が始まる前には教室の環境の整備・その日に使う教材を学修・教育開発センターから教室まで運ぶことも重要な仕事です。



**授業中**  
グループワークのサポートや教材の配布などを行いながら、学生ならではの視点で新入生の様子を担当教員に伝えるなど、新入生と担当教員をつなぐ役割も担っています。また、SAの経験談をテーマにした40分間のプレゼンテーションを行います。



**授業後**  
全ての授業終了後に振り返りとして行われる「SAと教員による合同意見交換会」を通じて、この科目の授業運営や施策について意見を述べるなど、大学の授業改善へも貢献しています。

毎年採用枠を超える応募があり、審査の結果選ばれた方にSAとして勤務してもらっています。来年度の新2・3・4年生(大学)対象のSA募集については、11月頃に事前説明会を実施予定です。詳細はポータルなどでご連絡します。

### ※「スタートアップセミナー 自主自律」とは

大学1年次の必修科目で東京家政大学の建学の精神「自主自律」をテーマに全学生が学ぶ授業。板橋校舎は4学部10学科、狭山校舎2学部3学科内でそれぞれ学科・専攻を混成しクラス編成をします。



大学HP

### SAに聞いてみました!

#### SAは大学生活の中の挑戦のひとつ

私のスタートアップセミナー自主自律のSAの先輩は、学業も私生活も努力をされている方で、何となく自分からは遠い存在だと感じていました。そのため、SAの先輩への憧れや刺激を受けた部分は多くありますが、自分がSAになるのは難しいことだと思っていました。しかし、親しくしていただいた先輩がSAだったと知り、お話を伺った時に、SAは決して特別な人がなっているのではなく、私と同じ学生がやっているのだと気づきました。このことがきっかけとなり、私の大学生活の中の挑戦のひとつとして、家政大生だからこそできるSAに挑戦しようと思いました。

活動の中で印象に残っていることは、説明会や事前研修での「スタートアップセミナーを受ける学生が主体だ」という言葉です。答えを教えるのではなくヒントを与えることや、後輩をサポートすることについて学びました。私は今まで先輩という立場で後輩と関わった時に、相手が求めることに対して答えようと努めていました。スタートアップセミナーが始まる前は不安な部分もありましたが、授業が始まり、1年生たちの活発な話し合いや発表を見ていて、私が何かを言わなければという場面がなく、1年生のエネルギーにも支えられていると感じています。

私はSAの経験を通して視野を広げ、これからの大学生活や社会人になってからに活かしていきたいと思います。たくさんの人と関わることや、多様な価値観に触れることのできるこの機会からさまざまなことを学び、これからの生活や社会に出てからの人との関わりに活かしていきたいと思っています。



服飾美術学科2年 Y.N.さん

#### 自分の経験を伝えられる人になりたい

SAの活動が始まって1カ月が経ちましたが、毎回1年生の姿を近くで見ている、真剣に学ぶ姿からこちらでも学ぶことが多いです。まず、なぜSAのメンバーになろうと思ったのか。これは、私がスタートアップセミナー自主自律の授業を受けていた時のSAさんの影響が一番大きいです。いつも学生の立場で物事を考え、少しでも困っていればすぐに駆け付けて質問に答え、明確な答えは与えずに考え方のヒントを与えるなど、学生が授業に参加しやすい環境づくりを徹底してくれていました。そして、自分の経験を踏まえた感想やアドバイスがあり、ためになることが多かったです。将来自分もこのような立場になって、自分の経験を伝えられる人になりたいと思うようになりました。

実際にSAになってみて、1年生からの質問に答えたり、自分の経験を踏まえたアドバイスをしたりする機会が多くあり少し大変ですが、感心してくれる姿にやりがいを感じる面もあります。また第5回の授業では、今までサポートする側だった自分が中心となってプレゼンテーションを行うということで、少し緊張しましたが1年生たちが真剣に聞いてくれる姿勢や、ためになったというような感想を聞くことができ、達成感を感じられました。

SAは自分の経験を人前で話す機会が多く、回を重ねることに少しずつ自信をもって話すことができるようになっていきました。このような経験は就活時に自分をアピールする際に活かしていけるのではないかと思います。残りの授業も積極的に先生、学生のサポートを行っていきたくです。



英語コミュニケーション学科3年 H.I.さん

## Students ~下級生をサポートする上級生の活動~

### 学生CRED

学生CREDは、「東京家政大学・東京家政大学短期大学部と、私たちの学生生活をよりよくすること」を目標として活動している学生有志団体です。

4月に開催された「新入生ウェルカム交流会」では、120名を超える多くの新入生が参加し、授業や履修登録、サークル活動、アルバイトなど、さまざまな情報を同じ学科の先輩たちから聞くことで、現状の不安が解消され、今後の大学生活への期待が膨らみました。



新入生ウェルカム交流会の準備



大学HP



X (旧:Twitter)



Instagram



交流会 当日の様子

### 学生CREDに聞いてみました!

#### 学生CRED活動でさらに主体的に行動したい

私が学生CREDのメンバーになった理由は、高校生の頃に体育祭や文化祭の運営に関わっていて、大学でもこのような活動を継続したいと思ったからです。

学生CREDに入り、印象に残っている活動は、「新入生ウェルカム交流会」です。私が入学した時も開催されており、参加しました。参加してみて、学生だけで全て運営しており、私が求めていた活動にプラスして、主体的に行動したいと思いました。いざ運営する側になると、高校生の頃のように「この枠の中で行ってください」と指示されるように敷かれたレールの上を通っていくのではなく、1から作っていく必要がありました。しかし、所属している団体の皆と意見を出し合い、協力しあって運営をしていくという楽しさもありながら、難しさも経験することができました。

この経験から、今後社会に出た時に複数人で1つの目標に向かって作業する場合、まとめ役の方へ回り、支えられる人になりたいと思いました。



教育福祉学科  
3年 R.K.さん

#### 学生CREDで身についた考える力

入学した当初は授業やレポート、履修登録などわからないことだらけで不安を抱えていました。そんな中、友達と参加したのが学生CRED主催の新入生ウェルカム交流会でした。上級生の説明や質問タイムのおかげで不安を解消することができたのと同時に、初めて学生CREDの存在を知りました。学生が主体となりイベントを企画運営しているという説明を聞き、私が新入生ウェルカム交流会で不安を解消できたように、イベントを通して学生生活が良くなるサポートをしたいと思いメンバーになることを決めました。

3年間活動をしてきた中で、2年次での緑苑祭の活動が印象に残っています。前年度は展示だった企画を食品販売に変えての参加でした。何を販売するか、値段や提出する書類など初めてのことばかりでした。私は主に隔週の委員会への参加と事前準備、当日スタッフ、片付け等を担当しました。当日スタッフでは販売のための声掛けはもちろん、学生CREDの存在を知ってもらうための宣伝も行いました。人の流れを見て声掛けのタイミングや場所を考えなければなりません。また初めてということもありトラブルも多々ありましたが1日目は午前中で売り切れるなど想像していたよりも多くの方に来ていただき、大きな達成感を感じました。

活動していく中でチラシ、フォームの作り方やメールの送り方を学ぶことができたのに加え、どのようにしたら学生が参加してくれるか、今学生はこのイベントに何を求めているのかなど考える力がついたことが大きな学びでした。この活動で身についた力は社会に出て必要になると思います。自分達が何を求められているのか、どのようにしたら多くの人に知ってもらえるのかを考える場面において学生CREDで得た学び、経験を役立てていきたいと思っています。



教育福祉学科  
3年 S.A.さん